

仕入ご担当者様(ジャンル: 本の本)



晶文社 4月新刊

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
TEL 03-3518-4940 http://www.shobunsha.co.jp

口笛を吹きながら本を売る

柴田信、最終授業

石橋毅史・著 四六版変型・上製 216 ページ 予価 1600 円+税
ブックデザイン 寄藤文平+鈴木千佳子 (文平銀座)

書店人生 50 年。
85 歳の今も岩波ブックセンターの代表として、
神保町の顔として、日々本と向きあう柴田信さん。
柴田さんの書店人生を辿ると、
本屋と出版社が歩んできた道のり、
本屋の未来を考える礎、
これからの小商いの姿が見えてくる……。



©ナビプラ神保町「神保町紳士録」

1965 年 4 月、芳林堂書店に入社以来、書店の現場から
〈本・人・街〉を見つめつづける名翁に
『「本屋」は死なない』(新潮社)の石橋毅史が 3 年にわたり密着した渾身書き下ろし。

石橋毅史 (いしばし・たけふみ)

1970 年、東京生まれ。日本大学芸術学部文芸学科卒業。出版社勤務を経て、
98 年、出版業界専門紙「新文化」編集部へ。2005 年「新文化」編集長、
10 年よりフリーランスとなる。著書に『「本屋」は死なない』(新潮社)が
ある。現在、「注文出荷制出版社共同DM」にて「本屋な日々」を連載中。

【目次】

- 序 いつだって会える名翁
- 1 書店の店頭から……?
柴田サンの生い立ち 1 (1930 年～ 1953 年 幼少～学生時代)
- 2 神保町に生きる
柴田サンの生い立ち 2 (1953 年～ 1965 年 中学教師～トラック運転手時代)
- 3 自分を表す、ということ
柴田サンの生い立ち 3 (1965 年～ 1978 年 芳林堂書店時代)
- 4 経営と自営
柴田サンの生い立ち 4 (1978 年～ 岩波ブックセンター時代)
- 5 「流れている現在」を生きる
あとがき

晶文社営業部 **FAX03-3518-4944** 配本申込み〆切 4 月 1 日

新刊委託申込書	取次・貴店印	<h1>口笛を吹きながら本を売る</h1> <p>石橋毅史 著</p>	申込部数	
	ご担当		様	冊
			展示方法	
			平	棚

【本の本】四六版変型・上製 216ページ 予価1600円+税
ISBN978-4-7949-6877-7 C0095 4月14日配本予定
晶文社営業部 TEL03-3518-4940